



## Raritan PX

### クイック セットアップ ガイド

Raritan PX インテリジェント電源タップ (PDU) をご購入いただき、ありがとうございます。Raritan PX は、IT 機器ルームのラックに設置されるようなコンピュータや通信機器などの IT 機器に電力を供給することを目的とした製品です。

このクイック セットアップ ガイドでは、PX のインストール方法と設定方法について説明します。PX の使用に関する詳細は、アプリケーションからオンラインヘルプにアクセスするか、ラリタンの Web サイトの「サポート (Support)」ページ (<http://www.raritan.com/support/>) からユーザガイドをダウンロードしてください。このリリースの詳細については、「サポート (Support)」ページの最新のリリースノートを参照してください。

### 安全に関する注意事項

**警告:** このガイドのすべてのセクションを読んで理解してから、本製品を設置または運用してください。この警告に従わなかった場合、感電、火災、死傷につながるおそれがあります。この製品を運用する前に、オンラインヘルプ、特にオンラインヘルプの警告をお読みください。

**警告:** 本製品は、電圧が製品のネームプレートに示されている範囲内にある AC 電源に接続してください。

**警告:** 本製品は、国や地域の電気工事規定に従って適切な定格のヒューズまたはサーキットブレーカで電流が制限されている AC 電源に接続してください。

**警告:** 本製品は、湿気の少ない場所で使用してください。

**警告:** 本製品は、保安用接地に接続してください。製品のプラグと壁のアウトレット (コンセント) の間に「グラウンドリフトアダプタ」は使用しないでください。

**警告:** 本製品が、電源コードやプラグの取り付けが必要なモデルである場合、そうした取り付け作業はすべて電気工事が行き、製品のネームプレートに記載されている定格および国や地域の電気工事規定に基づいて、適切な定格のコードやプラグを使用する必要があります。

### PX の開梱

PX には、ゼロ U、1U、および 2U の各サイズがあります。以下に、各サイズの製品に付属している機器を示します。コンポーネントのパッケージを開梱します。内容物に欠品や破損がある場合は、ラリタンのテクニカルサポート ([tech@raritan.com](mailto:tech@raritan.com)) またはお買い上げのラリタン販売代理店までご連絡ください。

#### ゼロ U サイズ

- PX デバイス
- 装着用のネジ、ブラケット、ボタン
- 両端が DB9 コネクタのヌルモデムケーブル (ラリタン部品番号: 254-01-0006-00) (オプション)
- インレットやアウトレット (コンセント) のケーブルリテンションクリップ (一部のモデルのみ)

#### 1U および 2U サイズ

- PX デバイス
- 1U または 2U のブラケットパックとネジ
- 両端が DB9 コネクタのヌルモデムケーブル (ラリタン部品番号: 254-01-0006-00) (オプション)
- インレットのケーブルリテンションクリップ (一部のモデルのみ)

### 設置前の確認点

1. 設置場所を準備します。設置場所が清潔で、適切な温度と湿度の範囲であることを確認します。デバイスの周囲にケーブルとアウトレット (コンセント) の接続のための十分なスペースを確保します。安全の指針については、「PX Online Help (PX オンラインヘルプ)」を参照してください。
2. 「PX Online Help (PX オンラインヘルプ)」の「Equipment Setup Worksheet (装置の設定ワークシート)」を記入します。PDU の電源アウトレット (コンセント) に接続する各 IT 機器のモデル、シリアル番号、および使用状況を記録します。

### PX の装着

必要に応じて、いずれかの装着方法で PX デバイスを設置します。

## サーキットブレーカの向き制限

通常、PDU はどの向きでも装着できます。ただし、サーキットブレーカ付きの PDU を装着する場合は、次のルールに従う必要があります。

- サーキットブレーカを下向きにすることは **できません**。たとえば、サーキットブレーカ付きのゼロ U PDU を天井に水平に装着しないでください。
- ポートや飛行機などの環境でラックが衝撃を受ける場合は、PDU の上下を逆にして装着することは **できません**。上下を逆にして設置すると、衝撃応力によりトリップ点が 10% 下がります。

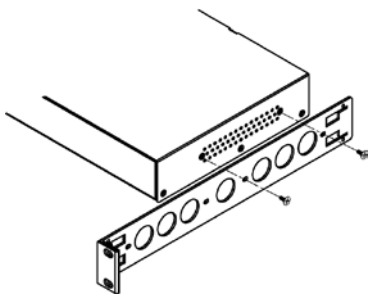
注: 通常の状態では電源コードが下向きの場合、上下を逆にするとう電源コードが上向きになります。

## 1U モデルまたは 2U モデルの装着

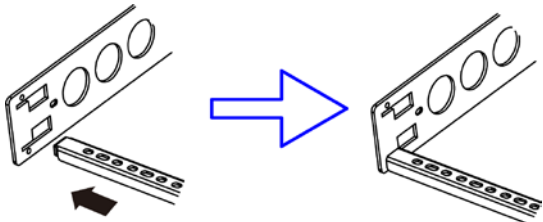
適切なブラケットと工具を使用して、1U または 2U の PX デバイスをラックまたはキャビネットに固定します。

### ▶ PX デバイスを装着するには、次の手順に従います。

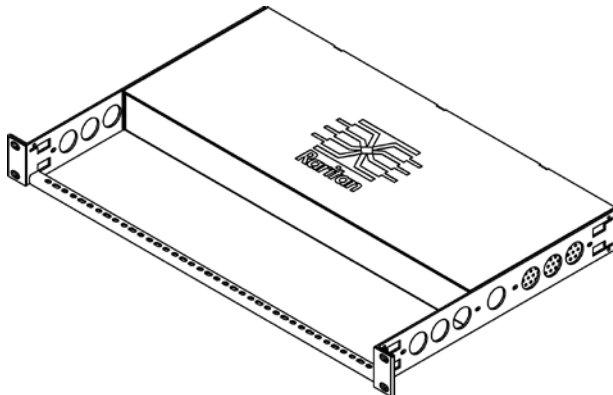
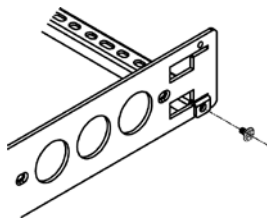
1. 付属のネジで、ラックマウントブラケットを PX デバイスの側面に取り付けます。



2. ケーブル支持バーをラックマウントブラケットに差し込みます。



3. ケーブル支持バーを同梱のエンドキャップネジで固定します。



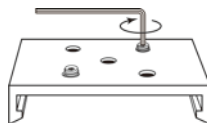
4. 手持ちの留め具を使用して、ラックマウントブラケットの耳をラックに固定します。

## ベースプレートのツールを使用したゼロ U モデルの装着

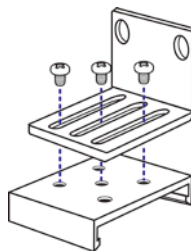
L-ブラケット、ボタン、かぎつめ足ブラケットの 3 つのベースプレートのツールのうちいずれか 1 つを使用して、PDU を装着することができます。

### ▶ ベースプレートを使用してゼロ U モデルを装着するには、次の手順に従います。

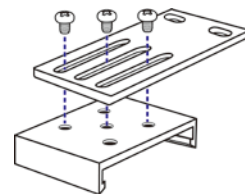
1. PX デバイスの背面にベースプレートを合わせます。
2. ベースプレートを PX デバイスに軽く留めます。付属の L 型六角レンチを使用して、ベースプレートが「軽く」固定されるまで、六角穴付きネジを緩めます。



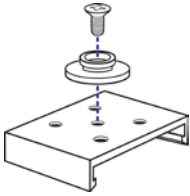
3. ブラケットまたはボタンをベースプレートに取り付けます。
  - 少なくとも 3 つのネジ (各スロットに 1 つ) で、各 L-ブラケットまたはかぎつめ足ブラケットを各ベースプレートに固定します。



または



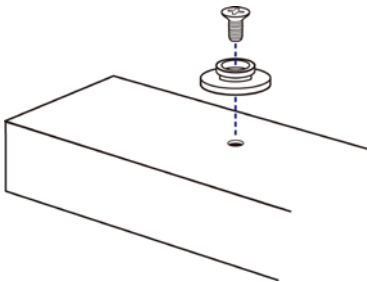
- 各マウントボタンを各ベースプレートにネジで留めます。ボタンの推奨トルクは 1.96 N・m (20 kgf・cm) です。



- ベースプレートのツールを使用して、PX デバイスをラックまたはキャビネットに固定します。
  - ラックのネジを使用して、PDU を L 型ブラケットまたはかぎつめ足ブラケットを通してラックに固定します。
  - ボタンの場合は、PDU を前に押し、マウント穴にマウントボタンを押し込み、PDU が約 1.6cm 下がるようにします。

### ボタンを使用したゼロ U モデルの装着

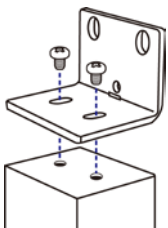
- PDU の背面を向けます。
- 背面パネルの 2 つのネジ穴の位置を確認します。
- 各ネジ穴にボタンをネジ留めます。ボタンの推奨トルクは 1.96 N・m (20 kgf・cm) です。



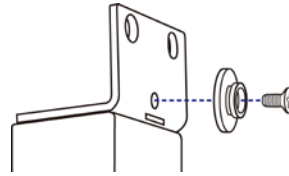
- PX デバイスを前に押し、マウント穴にマウントボタンを押し込み、PDU が少し下がるようにします。

### L-ブラケットとボタンを使用したゼロ U モデルの装着

- L-ブラケットを PX デバイスの各端に固定します。



- PDU をラックに固定するには、次のいずれかの方法を選択します。
  - ラックのネジを各 L-ブラケットの 2 つのラックマウント穴に取り付けます。
  - 各 L-ブラケットの後部中央にマウントボタンをネジ留めし、両方のボタンがラックのマウント穴にはまるようにします。ボタンの推奨トルクは 1.96 N・m (20 kgf・cm) です。



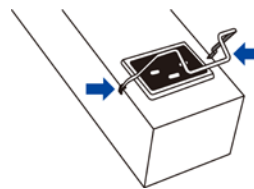
### インレットへのケーブルリテンションクリップの取り付け (任意)

ご使用の PX デバイスがケーブルリテンションクリップを使用するように設計されている場合は、クリップを取り付けてから電源コードを接続します。ケーブルリテンションクリップは、接続された電源コードの緩みや垂れ下がりを防ぎます。

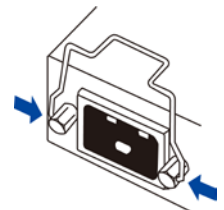
▶ ケーブルリテンションクリップをインレットに取り付けて使用するには、次の手順に従います。

- インレット付近の 2 つの小さい穴にクリップの両端を差し込んで、ケーブルリテンションクリップを取り付けます。

#### ゼロ U モデル

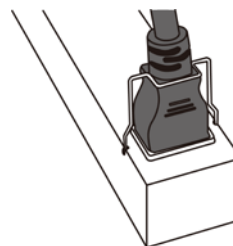


#### 1U/2U モデル

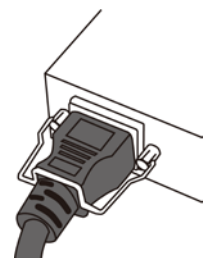


- 電源コードをインレットに接続し、電源コードに向かってクリップを押しします。

#### ゼロ U モデル



#### 1U/2U モデル



### PX3 ロック電源コードの接続

PX3 フェーズ II モデルには、ロック電源コードが同梱されています。コードを PDU のインレットに差し込むと、コードがしっかりとロックされます。

注: コードを取り外すには、ロッククリップを押すか、コードのコネクタの両端のスライドボタンを押します。詳細については、PX3 オンラインヘルプのトピック「Disconnecting a Locking Line Cord (ロック電源コードの取り外し)」を参照してください。

## 電源への PX の接続

PDU とその電源の距離は、コードが伸びてしまわないように、PDU の電源コードより短くする必要があります。しっかり接続するために、電源のロックコネクタを使用することをお勧めします。

### ▶ PDU を電源に接続するには、次の手順に従います。

1. PX デバイスのすべてのサーキットブレーカがオンになっていることを確認します。オンになっていない場合は、該当するサーキットブレーカをオンにします。

または、すべてのヒューズが正しく挿入され、配置されていることを確認します。ヒューズカバーがある場合は、カバーが閉じていることを確認します。

注: すべての PX デバイスが、過電流保護機構を備えているわけではありません。

2. 各 PX デバイスを適切な定格の分岐回路に接続します。適切な入力定格または定格の範囲については、PX デバイスに貼られているラベルまたはネームプレートを参照してください。
3. PX デバイスの電源がオンになると、しばらくの間はパワーオンセルフテストとソフトウェアのロードが実行されます。このとき、アウトレット(コンセント)の LED がさまざまな色に切り替わります。

注: PDU の電源をオンにした後ブザーが鳴った場合は、そのサーキットブレーカが作動しているか、ライン(電力線)と中性線の配線が逆になっています。作動しているサーキットブレーカがない場合は、使用されているプラグアダプタの配線、またはプラグまたはプラグアダプタが電源ソケットに接続されている方向を確認します。

4. ソフトウェアのロードが完了すると、アウトレット(コンセント)の LED が一定の色になり、フロントパネルのディスプレイが点灯します。

注: PX2-1000 または PX3-1000 の PDU には、アウトレット(コンセント)の LED がなく、フロントパネルのディスプレイのみが点灯します。

## ネットワークへの PX の接続

PX は、有線ネットワークまたはワイヤレスネットワークに接続できます。

### ▶ 有線接続を確立するには、次の手順に従います。

1. 標準のネットワークパッチケーブルを PX デバイスの Ethernet ポートに接続します。
2. ケーブルのもう一方の端を LAN に接続します。

### ▶ ワイヤレス接続を確立するには、次の手順に従います。

1. 適切な USB ワイヤレス LAN アダプタを PX デバイスに接続します。
2. PX デバイスがワイヤレス LAN 設定をサポートしていることを確認してください。

詳細については、「付録 B: ワイヤレス LAN 情報」(ページ 8)を参照してください。

## 初期ネットワーク設定

PX 初期設定のための最良の方法は、ご使用のネットワーク環境に応じて異なります。

- DHCP IPv4 ネットワーク環境については、「Web ブラウザの使用」(ページ 4)を参照してください。
- IPv6 または「静的」IPv4 ネットワーク環境については、「付録 A: 接続したコンピュータからの設定」(ページ 5)を参照してください。)

## Web ブラウザの使用

Web ブラウザを使用した初期設定には、次の 2 つの手順があります。

### 手順 1: IP アドレスの取得 (ページ 4)

### 手順 2: PX Web インタフェースへのログイン (ページ 5)

### 手順 1: IP アドレスの取得

DHCP IPv4 ネットワークへの接続後は、IPv4 アドレスが自動的に PX デバイスに割り当てられます。

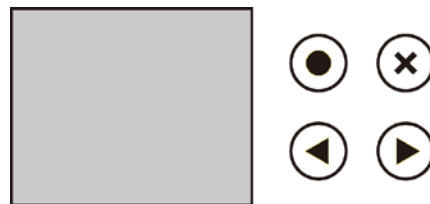
PX3 モデルの場合、IP アドレスはフロントパネルディスプレイで入手可能です。

PX2 モデルの場合、IP アドレスはコマンドラインインタフェース (CLI) から入手可能です。






注: このクイック セットアップ ガイドでは、PX3 の「フェーズ II」モデルのみについて説明しています。古い PX3「フェーズ I」モデルに関する情報は、PX3 ユーザガイドまたはオンラインヘルプの「サポート (Support)」ページ (<http://www.raritan.com/support/>) を参照してください。

## PX3 フェーズ II モデル

PX3 フェーズ II モデルのフロントパネルディスプレイは、次の図のようになります。



### ▶ IP アドレスを取得するには、次の手順に従います。

1.  または  を押し、[Main Menu (メインメニュー)] を表示します。
2. [Main Menu (メインメニュー)] で  または  を押して [Device Info (デバイス情報)] を選択し、 を押します。

3. ▲ または ▼ を押し、「IPv4 Settings (IPv4 の設定)」ページに移動します。2 行目が IP アドレスです。

## PX2 モデル

1. RS-232 または USB ケーブルで PX2 をコンピュータに接続します。「手順 1: コンピュータへの PX の接続」(ページ6)を参照してください。
2. コンピュータで、適切な COM ポート設定で通信プログラムを開いてください。COM ポート設定については、「手順 2: PX を CLI から設定する(任意)」(ページ6)を参照してください。
3. 通信プログラムで Enter を押すと、IP アドレスが次のように画面に表示されます。

```

Login for PX2 CLI (192.168.84.30)
Enter 'unlock' to unlock a user.
Username: █
    
```

注: DHCP の割り当てられた IP アドレスは、MAC アドレスからも取得できます。サポートが必要な場合は、LAN 管理者にお問い合わせください。「MAC アドレス」(ページ9)を参照してください。

## 手順 2: PX Web インタフェースへのログイン

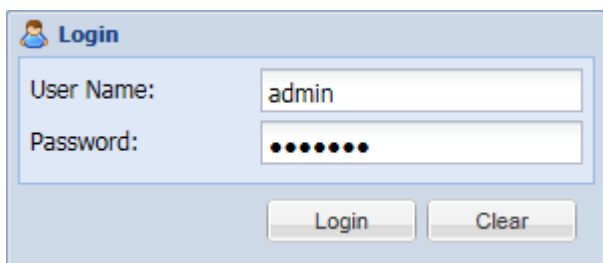
PX は、Microsoft Internet Explorer® や Mozilla Firefox® などの一般的な Web ブラウザに対応しています。

### ▶ PX Web インタフェースにアクセスするには、次の手順に従います。

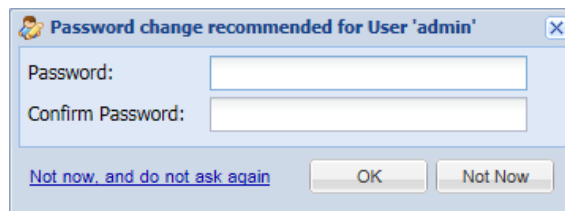
1. Web ブラウザを開いて、PX デバイスの IP アドレスを入力します。
  - リンクローカルアドレスが有効な場合、IP アドレスではなく、「pdu.local」と入力することもできます。「付録 A: 接続したコンピュータからの設定」(ページ5)を参照してください。



2. セキュリティ警告が表示されたら、すべて許可します。
3. デフォルトのユーザ名は「admin」、パスワードは「raritan」です。次に、[Login (ログイン)] をクリックします。



4. パスワードの変更を求めるプロンプトが表示されたら、パスワードを変更するか、無視します。



- パスワードを変更するには、新しいパスワードを入力して [OK] をクリックします。
- 今回はパスワード変更をしない場合、[Not Now (後で変更)] をクリックします。
- パスワードを今後変更しない場合は、[Not now, and do not ask again (今は変更しない。このメッセージを今後表示しない)] をクリックします。

## 次の処理手順

1. PX のアウトレット (コンセント) に IT 機器を接続します。
2. Web ブラウザをまだ起動していない場合は、起動してください。「手順 2: PX Web インタフェースへのログイン」(ページ5)を参照してください。
3. [Device Settings (デバイス設定)] > [Date/Time (日付/時刻)] を選択して、PX デバイ스에正しい日付と時間を設定するか、NTP サーバと同期させます。LDAP 認証を使用する場合は、PX デバイスの時間を LDAP サーバと同期させる必要があります。

注: Sunbird の Power IQ を使用して PX を管理する場合は、Power IQ と PX を同じ日付/時刻になるよう設定するか、同じ NTP 設定を使用するように設定する必要があります。

4. PX は、工場出荷時にはすべてのアウトレット (コンセント) がオンになっています。ご使用のモデルにアウトレットスイッチング機能がある場合は、Web インタフェースからデバイスを接続せずに、アウトレット (コンセント) をオフにします。
5. ページ上部に表示されるメニューを使用して、ユーザプロファイル、権限、セキュリティ、アウトレット (コンセント) のしきい値、ネットワークを設定します。

注: 詳細な指示事項は、[オンラインヘルプ](#)または[ユーザガイド](#)でご確認いただけます。

## 付録 A: 接続したコンピュータからの設定

設定にコマンドラインインタフェース (CLI) を使用するには、RS-232 または USB 接続を確立する必要があります。

設定に Web ブラウザを使用するには、コンピュータをネットワークに接続してください。利用可能な DHCP がない場合、PX は、ネットワーク内の以下のリンクローカルアドレスに自動的に設定されます。

- https://169.254.x.x (「x」は番号)
- https://pdu.local

## 手順 1: コンピュータへの PX の接続

コンピュータへの次のいずれかの接続を確立します。

### ▶ シリアル RS-232 接続:

1. nulモデムケーブルの片方の端を、PX デバイスの CONSOLE/MODEM というラベルの RS-232 ポート(雄口)に接続します。
2. nulモデムケーブルのもう一方の端をコンピュータの RS-232 ポート(COM)に接続します。
3. 「手順 2: PX を CLI から設定する(任意)」(ページ6)を実行してください。

### ▶ USB 接続:

1. Windows®では、USB-to-Serial ドライバが必要です。USB ケーブルを接続する前に、このドライバをインストールしてください。「USB-to-Serialドライバのインストール(任意)」(ページ9)を参照してください。
2. PX デバイスの USB-B ポートとコンピュータの USB-A ポートを USB ケーブルで接続します。
3. 「手順 2: PX を CLI から設定する(任意)」(ページ6)を実行してください。

### ▶ 直接ネットワーク接続:

1. 標準のネットワークパッチケーブルの片端を PX デバイスの Ethernet ポートに接続します。
2. もう一方の端をコンピュータの Ethernet ポートに接続します。
3. 接続したコンピュータで、いずれかのリンクローカルアドレス (pdu.local または 169.254.x.x)を使用し、Web ブラウザを起動して PX にアクセスします。「Web ブラウザの使用」(ページ4)を参照してください。この接続では、CLI を使用することはできません。

注: コンピュータのワイヤレスのインタフェースが無効になっていることを確認してください。

## 手順 2: PX を CLI から設定する(任意)

RS-232または USB接続で以下を実行します。

### ▶ PX を CLI から設定するには、次の手順に従います。

1. PX に接続されているコンピュータで、HyperTerminal や PuTTY などの通信プログラムを開きます。
2. 適切な COM ポートを選択して、ポートを以下のように設定します。
  - ビット/秒 = 115200(115.2Kbps)
  - データビット = 8
  - ストップビット = 1
  - パリティ = なし
  - フロー制御 = なし

ヒント: USB 接続では、[Control Panel(コントロールパネル)] > [System(システム)] > [Hardware(ハードウェア)] > [Device Manager(デバイスマネージャ)]を選択し、[Port (ポート)]グループの「Dominion PX2 Serial Console (Dominion PX2 シリアルコンソール)」を特定して、COM ポートを決定することができます。

3. 通信プログラムで、Enter を押して PX にキャリッジリターンを送信します。
4. PX でログインを求めるプロンプトが表示されます。ユーザ名とパスワードは両方とも大文字と小文字を区別します。
  - a. ユーザ名: admin
  - b. パスワード: raritan(または変更後の新しいパスワード)
5. パスワードの変更を求めるプロンプトが表示されたら、パスワードを変更するか、無視します。
  - パスワードを変更するには、画面の指示に従って新しいパスワードを入力します。
  - パスワードを変更しない場合は、Enter を押してください。
6. #プロンプトが表示されます。
7. 「config」と入力し、Enter を押します。
8. ネットワークを設定するには、適切なコマンドを入力して Enter を押します。すべてのコマンドが、大文字と小文字を区別します。
  - a. ネットワークモードを設定するには、次のコマンドを入力します。
 

```
network mode <mode>
```

 この場合、<mode>は、「wired」(デフォルト)または「wireless」になります。
  - b. 有線ネットワークモードでは、LAN インタフェースを設定できます。ほとんどの場合、デフォルト設定(auto(自動))で正常に機能します。必要のない限り変更しないでください。

設定対象	使用するコマンド
LAN interface speed (LAN インタフェース速度)	network interface LANInterfaceSpeed <option>  <option>は、auto、10Mbps または 100Mbps です。
LAN interface duplex mode (LAN インタフェースデュプレックスモード)	network interface LANInterfaceDuplexMode <mode>  <mode>は、half、full または auto です。

ヒント: 複数のコマンドを組み合わせることで複数のパラメータを一度に設定できます。たとえば、次のように設定します。  
network interface LANInterfaceSpeed <option>  
LANInterfaceDuplexMode <mode>

- c. ワイヤレスネットワークモードの場合、Service Set Identifier (SSID) パラメータを設定する必要があります。

設定対象	使用するコマンド
SSID	network wireless SSID <ssid>  <ssid>は、SSID 文字列です。

必要な場合は、次の表に示す他のワイヤレスパラメータを設定します。

設定対象	使用するコマンド
BSSID	network wireless BSSID <bssid>  <bssid>は、AP MAC アドレスまたは none です。
認証方法	network wireless authMethod <method>  <method>は、psk または eap です。
PSK	network wireless PSK <psk>  <psk>は、PSK 文字列です。
EAP 外部認証	network wireless eapOuterAuthentication <outer_auth>  <outer_auth>は PEAP です。
EAP 内部認証	network wireless eapInnerAuthentication <inner_auth>  <inner_auth>は、MSCHAPv2 です。
EAP ID	network wireless eapIdentity <identity>  <identity>は、EAP 認証のユーザ名です。
EAP パスワード	network wireless eapPassword  EAP 認証にパスワードの入力を求めるプロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
EAP CA 証明書	network wireless eapCACertificate  CA 証明書の入力を求めるプロンプトが表示されたら、テキストエディタで証明書を開き、その内容を通信プログラムにコピーアンドペーストします。

CA 証明書からコピーする内容に、「BEGIN CERTIFICATE」が含まれる最初の行と、「END CERTIFICATE」が含まれる最後の行を含めないでください。証明書がインストールされている場合は、以下を設定します。

オプション	使用するコマンド
証明書の検証	network wireless enableCertVerification <option1>  <option1>は、true または false です。

オプション	使用するコマンド
期限切れまたは有効な証明書の許可	network wireless allowOffTimeRangeCerts <option2>  <option2>は、true または false です。
「不正な」システム時刻を無視して接続を適切に行う	network wireless allowConnectionWithIncorrectClock <option3>  <option3>は、true または false です。

- d. どちらの IP プロトコル (IPv4 または IPv6) を有効にし、DNS サーバから返された IP アドレスのどちら (IPv4 または IPv6) を使用するかを決定するには、次のパラメータを設定します。

設定対象	使用するコマンド
IP プロトコル	network ip proto <protocol>  <protocol>は、v4Only、v6Only または both です。
DNS サーバから返された IP アドレス	network ip dnsResolverPreference <resolver>  <resolver>は、preferV4 または preferV6 です。

- e. 前の手順で IPv4 または IPv6 プロトコルを有効にした後、IPv4 または IPv6 ネットワークパラメータを設定します。

設定対象	使用するコマンド
IPv4 設定方法	network ipv4 ipConfigurationMode <mode>  <mode>は、dhcp (デフォルト) または static です。
IPv6 設定方法	network ipv6 ipConfigurationMode <mode>  <mode>は、automatic (デフォルト) または static です。

- IPv4 DHCP または IPv6 自動設定の場合は、優先ホスト名を設定します。

注: 次のすべてのコマンドの <version> 変数は、有効にした IP プロトコルのタイプに応じて、ipv4 または ipv6 のいずれかとなります。

設定対象	使用するコマンド
優先ホスト名 (オプション)	network <version> preferredHostName <name>  <name>は、優先ホスト名です。

ヒント: DHCP によって割り当てられた DNS サーバを手動で指定したサーバで上書きするには、次のコマンドを入力します。

```
network <version> overrideDNS <option>
```

この場合、<option>は enable または disable です。DNS サーバを手動で指定するためのコマンドについては、次の表を参照してください。

- 静的 IP 設定の場合は、次のパラメータを設定します。

設定対象	使用するコマンド
静的 IPv4 または IPv6 アドレス	network <version> ipAddress <ip address>  <ip address>は、静的 IP アドレスです。
IPv4 サブネットマスク	network ipv4 subnetMask <netmask>  <netmask>は、サブネットマスクです。
IPv4 または IPv6 ゲートウェイ	network <version> gateway <ip address>  <ip address>は、ゲートウェイの IP アドレスです。
IPv4 または IPv6 プライマリ DNS サーバ	network <version> primaryDNSServer <ip address>  <ip address>は、プライマリ DNS サーバの IP アドレスです。
IPv4 または IPv6 セカンダリ DNS サーバ (オプション)	network <version> secondaryDNSServer <ip address>  <ip address>は、セカンダリ DNS サーバの IP アドレスです。

- 設定モードを終了するには、次のいずれかのコマンドを入力し、Enter を押します。

コマンド	説明
apply	設定変更をすべて保存して、設定モードを終了します。
cancel	設定変更をすべて中止して、設定モードを終了します。

#プロンプトが表示され、設定モードが終了したことがわかります。

- すべて正しく設定されているかどうかを確認するには、次のコマンドを 1 つずつ入力します。

コマンド	説明
show network	ネットワークパラメータが表示されます。
show network ip all	すべての IP 設定パラメータが表示されます。
show network wireless details	すべてのワイヤレスパラメータが表示されます。

ヒント: 「show network wireless」と入力すると、ワイヤレス設定の簡易版が表示されます。

- すべて正しい場合は、「exit」と入力して PX からログアウトします。正しくない設定がある場合は、手順 7~10 を繰り返してネットワーク設定を変更します。

## 付録 B: ワイヤレス LAN 情報

### USB ワイヤレス LAN アダプタ

PX は、次の USB Wi-Fi LAN アダプタをサポートしています。

Wi-Fi LAN アダプタ	サポートされている 802.11 プロトコル
Proxim Orinoco 8494	A/B/G
Zyxel NWD271N	B/G
Edimax EW-7722UnD	A/B/G/N
TP-Link TL-WDN3200 v1	A/B/G/N
Raritan USB WIFI	A/B/G/N

注: 802.11n ワイヤレスネットワークへの接続に Edimax EW-7722UnD またはラリタンの USB WIFI ワイヤレス LAN アダプタを使用するには、ハンドシェイクタイムアウトの設定を 500 以上に設定する必要があります。設定しないと、ワイヤレス接続が失敗します。

### ワイヤレス LAN アダプタの接続

ワイヤレス LAN アダプタは、PX、または PX に設置されている USB ドッキングステーションのいずれかに接続することができます。

#### ▶ ワイヤレス接続を確立するには、次の手順に従います。

次のいずれかを行います。

- サポートされている USB ワイヤレス LAN アダプタを、PX の USB-A ポートに接続します。
- USB ドッキングステーションを、PX の USB-A ポートに接続します。次に、サポートされている USB ワイヤレス LAN アダプタを、ドッキングステーションの適切な USB ポートに接続します。



## サポートされているワイヤレス LAN 設定

ワイヤレスネットワーク接続を選択する場合は、PX のワイヤレス LAN 設定がアクセスポイントに適合していることを確認します。PX がサポートしているワイヤレス LAN 設定は次のとおりです。

- ネットワークタイプ: 802.11 A/B/G/N
- プロトコル: WPA2 (RSN)
- キー管理: PEAP および MSCHAPv2 認証による WPA-PSK または WPA-EAP
- 暗号化: CCMP (AES)

**重要: サポートされている802.11ネットワークプロトコルは、PXで使用されているワイヤレスLANアダプタに応じて異なります。「USBワイヤレスLANアダプタ」(ページ8)を参照してください。**

## 付録 C: その他の情報

### USB-to-Serial ドライバのインストール(任意)

PX は、USB 接続で USB-to-Serial コンバータをエミュレートすることができます。Microsoft® Windows® オペレーティングシステムでは、「Dominion PX2 シリアルコンソール」という名称の USB-to-Serial ドライバが必要です。

ラリタンのウェブサイトの「サポート(Support)」ページ (<http://www.raritan.com/support/>) から、USB シリアルコンソールドライバをダウンロードしてください。ドライバには、dominion-serial.inf、dominion-serial.cat、dominion-serial-setup-<n>.exe ファイルが含まれています。

注: 「dominion-serial-setup-<n>.exe」のファイル名の<n>は、ファイルのバージョン番号を表します。

このドライバのインストール方法は、自動インストールと手動インストールの2つがあります。自動ドライバインストールをお勧めします。

#### ▶ Windows®での自動ドライバインストールは、次の手順に従います。

1. PX が USB ケーブルでコンピュータに接続されていないことを確認してください。
2. コンピュータで dominion-serial-setup-<n>.exe を実行し、オンライン指示事項に従ってドライバをインストールします。

注: Windows のセキュリティ警告が表示された場合は、許可をしてインストールを続行してください。

3. PX を USB ケーブルでコンピュータに接続します。ドライバが自動的にインストールされます。

注: 手動でのドライバのインストールは、自動インストールに失敗したときのみ、行ってください。手動でのインストール手順は、オンラインヘルプの「USB-to-Serialドライバのインストール(任意)」セクションを参照してください。

#### ▶ Linux の場合:

追加のドライバは不要ですが、tty デバイスの名前を入力する必要があります。これは、PX をコンピュータに接続した後、「dmesg」を実行した結果に含まれています。通常、tty デバイスは、「/dev/ttyACM#」または「/dev/ttyUSB#」です。「#」は整数です。

たとえば、kermit ターミナルプログラムを使用し、tty デバイスが「/dev/ttyACM0」の場合は、次のコマンドを実行します。

```
> set line /dev/ttyACM0
```

```
> connect
```

### MAC アドレス

PX デバイスには、シリアル番号および MAC アドレスの両方が記載されたラベルが貼付されています。



必要な場合は、一般的なネットワークツールを使用することで、MAC アドレスから PDU の IP アドレスを検出できます。サポートについては、LAN 管理者にお問い合わせください。

### PX 3 交換可能コントローラ

PX 3 モデルのコントローラは、故障した場合には交換することができます。コントローラの交換が必要な場合は、ラリタンにお問い合わせください。

コントローラの取り外しに関する詳細は、PX 3 オンラインヘルプのトピック「Replaceable Controller(交換可能なコントローラ)」を参照してください。

